

***architects in mode**
ロンドンのクロエは、洗練 & ワイルドのコントラストが鮮やか。

クロエがロンドン初の路面店を、新しいコンセプトのもとスローンストリートにオープンした。2フロアの店内には、靴やバッグを含むクロエの全商品がディスプレイされている。

デザインを手がけた建築家ソフィー・ヒックスは、まず最初にクロエのスタジオに通った。「ブティックのデザインではブランドのキャラクターを知ることが大切。クロエって何？デザイナー、フィービー・フィロのデザインの背後にあるものは？それを理解するのが第一歩でした」。

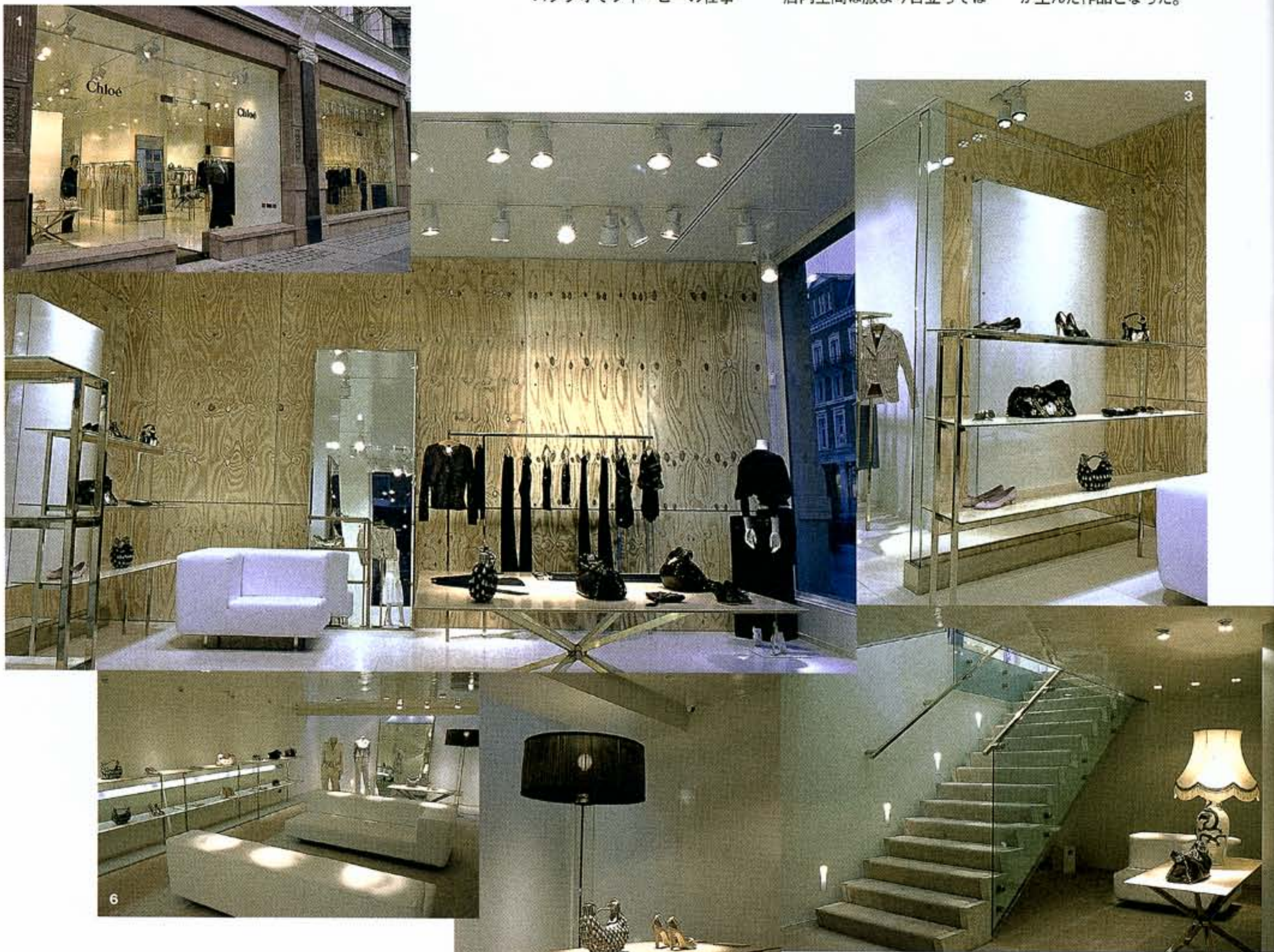
スタジオでフィービーの仕事

ぶりを見てソフィーが得たキーワードは、「コントラスト」。「たとえば春夏コレクションのジャケットでも、洗いをかけたコットンに手の込んだ刺繍を施すなど、ラグジュアリーとラフ、洗練とワイルドが同居しているのです。そのコントラストをショップに反映させたかったのです」。

コントラストはたとえば、最も安価なベニヤ板を磨いた壁と、高価な金属製のハンガーラックで表現されている。ラックのゴールドとテーブルトップのピンクはフィービーのアイデアだ。

店内空間は服より目立っては

だめ、あくまでも服を引き立たせる背景だとソフィーは考える。「でも、ブランドのアイデンティティは表現されていなければなりません。それを私は、ドアノブ代わりの馬の彫刻で実現したつもりです。人の目線の範囲にキャラクターのあるものを置くのは、高い位置に看板を付けるよりも効果的だと思うのです」。オーガニックな感じを出したいから動物で、というソフィーのアイデアから馬を選んだのはフィービー。こうしてショップは、ふたりの才能ある女性の相互理解が生んだ作品となった。



1. 外光をふんだんに取り入れた外観。リアルなドアノブの馬は、馬専門の彫刻家の作品。2. 磨いたベニヤ板の壁が床とテーブルの大理石とコントラストを作る。3. ガラスにグラスファイバーを挟んだパーティションはコーナーを分けながら閉塞感を出さないためのもの。4. 地下フロアからの階段部分。アンティークのライトが灯す光が柔らかい。5. 小さな大理石のテーブルはディスプレイのポイントになっている。6. 地下フロア全景。スポットライトを効果的に使って、1階とのコントラストを出している。

Chloé
 152-153 Sloane Street London SW1 9BX
 ☎ 020 7823 5348
 営業時間 月～土曜10:00～18:00 (水曜～19:00)
 日曜定休

●ソフィー・ヒックス

Sophie Hicks
 建築事務所 S.H.Limited Architects 代表。「ハーバーズ&クイーン」、英国版「ヴォーグ」でアシスタント・エディターとして勤務の後、ロンドンのAAスクールに学び、建築家に転身。ブティックデザインでは、ポール・スミスの店舗を多数手がけた。42歳。

